

門真市の教育を取り巻く現状

## 1 教育を取り巻く状況

### (1) 社会の潮流

#### ①子どもの生活を取り巻く環境の変化

日本の人口は、平成 20（2008）年をピークとして減少局面に入っており、今後も出生率の低下等によりさらなる減少傾向に向かうと推測されています。それに伴い、年少人口も少なくなることにより学級数が減少するなど、学校における環境も変化してきています。また、家庭においても核家族化が進展し、地域における人間関係も希薄化するなどにより、一人の子どもの関係する大人の数が少なくなっていることが懸念される状況となっています。

#### ②グローバル社会・情報技術の進展

現代社会は、情報通信技術の進展、交通手段の発達による容易な移動、市場の国際化の進展により、様々な分野でのグローバル化が進んでいます。教育分野においても、基礎的な学力に加え課題解決能力やコミュニケーション力の向上や多様な文化への国際理解を深めることなど、グローバル化に対応するための力を身に着けることが求められています。

また、現代の技術革新により提唱された新たな社会である「超スマート社会（Society5.0）」を目指すため、AIの活用を含めた情報技術活用能力や求められる教育のかたちも大きく変化しています。

#### ③安全安心で持続可能な社会への意識の高まり

東日本大震災や平成 30（2018）年に発生した大阪府北部地震をはじめとした大規模な地震や大型の台風、大規模水害などの災害が相次ぎ、今後も南海トラフ巨大地震などの大規模な災害の発生が懸念される中、安全に対する意識が高まっています。

また、平成 27（2015）年に開催された国際サミットにおいて採択された持続可能な開発のために取り組むべき 17 のゴールと 169 のターゲットからなる目標（SDGs）が掲げられました。今後の教育の推進においても、これらの目標を視野に入れていくことが求められます。

## (2) 近年の国の動向

国においては、教育基本法第 17 条に基づく計画として、第 1 期教育振興基本計画（計画期間：平成 20(2008)年度から平成 24(2012)年度）を策定し、平成 30(2018)年 6 月に第 3 期教育振興基本計画が閣議決定され、その方針に基づきさまざまな政策が進められています。その中の主なものは次のとおりです。

### ①学習指導要領の改訂 【参照：参考資料 13】

全国統一の教育水準を保つための教育課程（カリキュラム）の基準である学習指導要領が改訂され、令和 2（2020）年度より（中学校は令和 3（2021）年度より）新たな学習指導要領の下での教育が始まります。

新しい学習指導要領は、「生きる力 学びのその先へ」を理念に掲げ、主体的で・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点での授業づくり、カリキュラムマネジメントの確立を通じて、

- ・ 学びの向かう力や人間性
- ・ 知識及び知能
- ・ 思考力・判断力・表現力

の 3 つの力をバランスよく育むことを目指しています。

### ②教育 ICT 化の推進【参照：参考資料 14】

Society5.0 時代を生きる子どもたちに教育における ICT を基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる中、令和元（2019）年 12 月に「GIGA スクール構想」が国により示されました。「GIGA スクール構想」に掲げる目標としては、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人ひとりに公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育 ICT 環境の実現を目指すこととされています。

構想の実現に向けて、令和元(2019)年度に全国的に整備される 1 人 1 台端末と高速大容量の通信ネットワークを活用し、新しい教育を進めていく必要があります。

### ③新型コロナウイルス感染症に伴う様々な取組【参照：参考資料 15】

新型コロナウイルス感染症対策が進められる中においても、国において「あらゆる手段で、子どもたち誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障」し、子どもたちの学びを止めないための対策が示されました。

今後、これに基づく学校教育や衛生面を含めた学校運営のあり方を検討していく必要があります。

### (3) 門真市における教育に関する取組

#### ①門真市教育振興基本計画の推進

門真市教育委員会においては、平成 28(2016)年3月に「門真市教育振興基本計画」を策定し、平成 28(2016)年度から令和2(2020)年度を計画期間として様々な取組を進めてきました。

主な取組は次のとおりです。【詳細は参考資料 16 を参照】

基本目標	実施年度	取組内容
【基本目標1】 0歳からの15年一貫教育で 子どもの夢と幸せをはぐくみます	平成 28 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門真市版授業スタンダードの推進(継続)</li> <li>・市独自の学習到達度調査(小3~小5)の実施(継続)</li> <li>・外国語活動支援員の配置(継続)</li> <li>・NET 事業の実施(継続)</li> <li>・門真市めざせ世界へはばたけ事業の実施(継続)</li> <li>・市独自の 35 人学級編成の実施(継続)</li> <li>・門真市開発的生徒指導の推進(継続)</li> <li>・学校給食選手権の実施(継続)</li> </ul>
	平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細かな指導を実現する環境づくり事業の実施</li> <li>・「門真市版授業づくりベーシック」を作成</li> <li>・「ようこそ門真へ」国際交流事業を実施</li> <li>・門真市いじめ防止指針の策定</li> </ul>
	令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア・パスポートの活用開始(令和2年度~)に向けた準備</li> <li>・個別の教育支援計画、個別の指導計画の改訂</li> <li>・GIGA スクール構想実現に向けた準備</li> </ul>
【基本目標2】 多様な学びの機会を実現する充実した教育環境をつくります	平成 28 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書の増員</li> <li>・適応指導教室「かがやき」の設置(継続)</li> <li>・子ども悩み相談サポートチームの設置(継続)</li> </ul>
	平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書の全小中学校への配置</li> </ul>
	令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校予算の裁量権の拡充に向けた準備</li> </ul>
【基本目標3】 子どもを真ん中に学校、家庭、地域、行政がつながります	平成 28 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全見守り事業の実施(継続)</li> <li>・交通専従員の配置(継続)</li> <li>・「サタスタ」「学び舎 Kids」の実施(継続)</li> <li>・Kadoma 塾の実施(継続)</li> </ul>

#### ②門真市魅力ある教育づくり審議会における審議

平成 28(2016)年 11 月に、「門真市教育振興基本計画の基本理念に基づく教育のあり方について」門真市教育委員会より門真市魅力ある教育づくり審議会に対して諮問し、審議を重ねた上で平成 30(2018)年 8 月に答申がなされ、以下の5項目について提言がなされました。

- ・横のつながりや縦のつながりなど、多様な人間関係の構築をとおして主体的に学び合える学校環境づくりについて
- ・すべての子どもにとって安全で優しく、充実した学校施設のあり方について
- ・いじめ防止指針の策定及び不登校問題の対策について
- ・門真の子どもたちの自己実現に向けて
- ・門真の子どもたちへの支援に向けて

### ③門真市学校適正配置審議会における審議

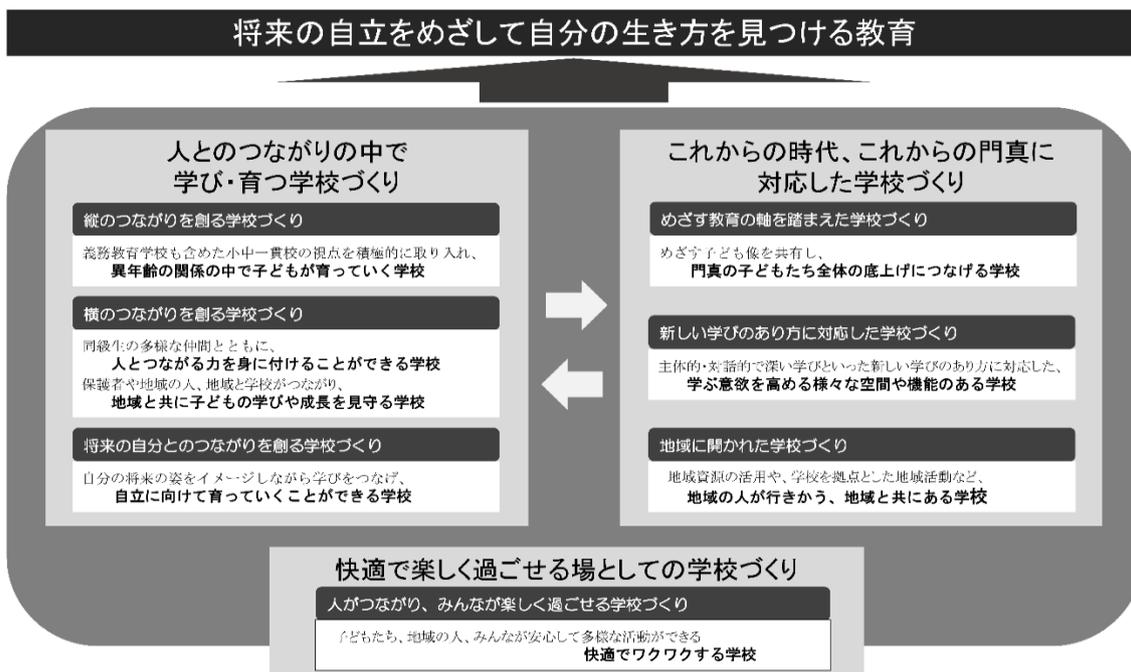
門真市魅力ある教育づくり審議会の答申の中で、「横のつながりや縦のつながりなど、多様な人間関係の構築をとおして主体的に学び合える学校環境づくりについて」及び「すべての子どもにとって安全で優しく、充実した学校施設のあり方について」提言がなされたことを受けて、門真市学校適正配置審議会において、学校の適正配置を進める前提となる「門真のめざす教育とこれからの学校づくりの方向性について」審議がなされ、その方向性と今後の小・中学校のあり方についての具体的な提言がなされました。

#### 答申で示された「門真のめざす教育とこれからの学校づくりの方向性について」

##### ○ 門真のめざす教育

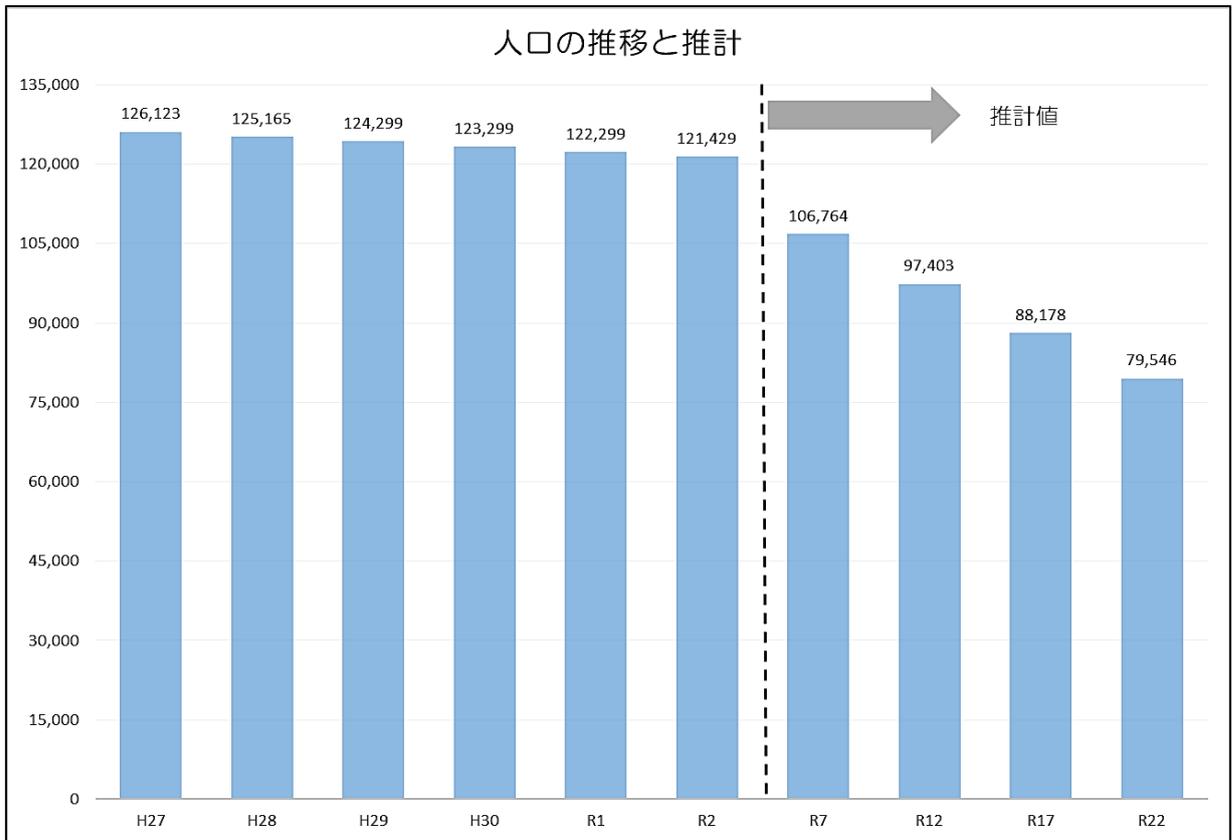


##### ○門真のめざすこれからの学校づくり



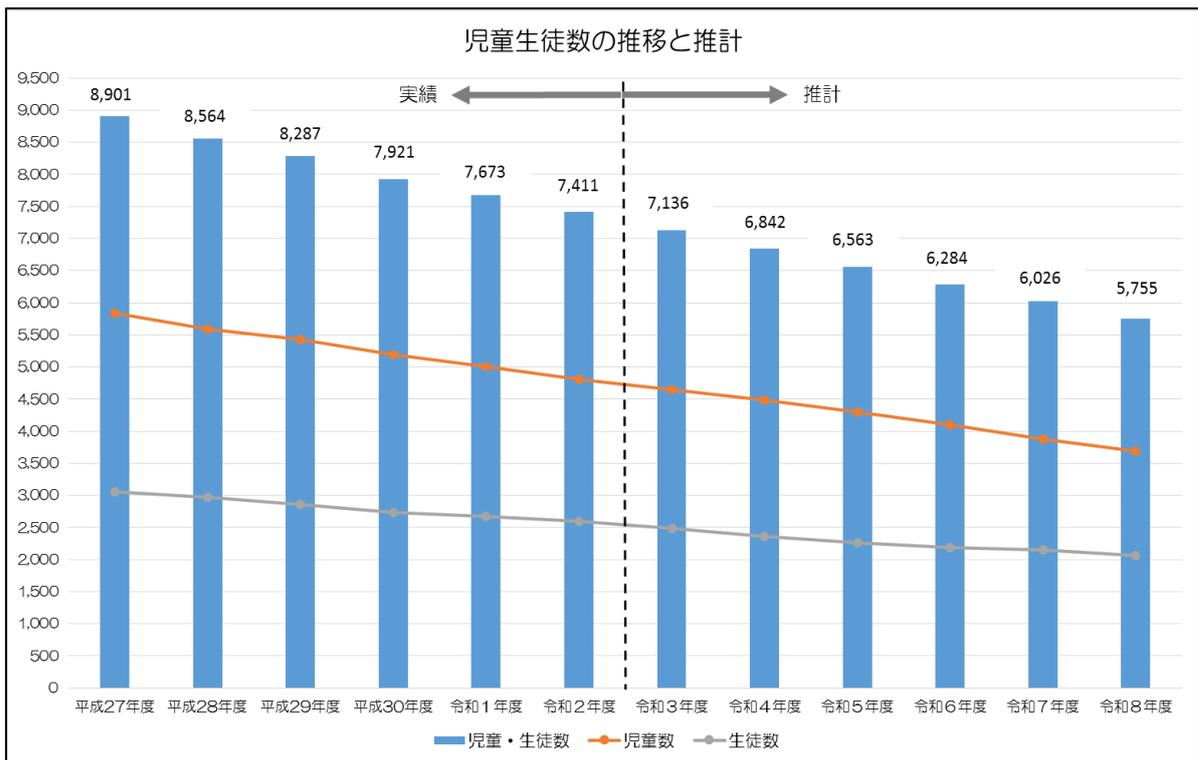
## 2 統計値から見る門真の子どもを取り巻く状況

### (1) 人口の推移と将来推計



人口は毎年減少しており、今後についても人口減が見込まれています。令和7(2025)年には106,764人となり、令和22(2040)年には79,546人となることが予想されています。

(2) 児童・生徒数の推移と将来推計

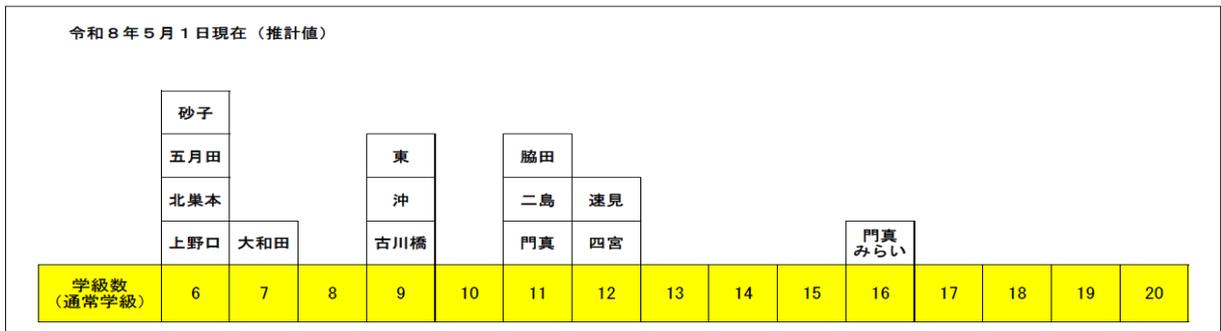
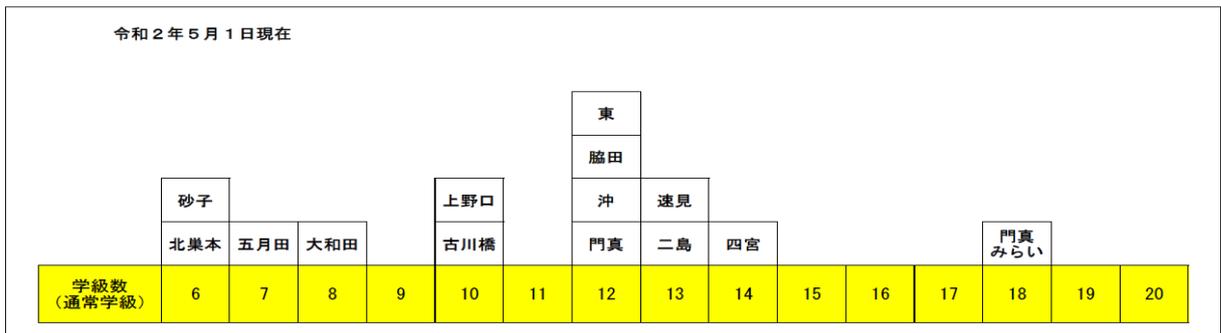


児童・生徒数の推移については、人口の推移同様、年々減少していく傾向となっており、令和8(2026)年度には、5,755人となることが見込まれています。

(3) 学級数の推移

【小学校】

	学級数【学級】 ( ) 内支援学級	教員数【人】	児童数【人】
平成 28 年度	245 (53)	396	5,588
平成 29 年度	241 (53)	382	5,426
平成 30 年度	236 (58)	380	5,189
令和元年度	234 (64)	380	5,004
令和 2 年度	228 (68)	368	4,808



【中学校】

	学級数【学級】 ( )内支援学級	教員数【人】	生徒数【人】
平成 28 年度	110(27)	225	2,976
平成 29 年度	108(29)	223	2,861
平成 30 年度	100(27)	212	2,732
令和元年度	96(26)	210	2,669
令和2年度	98(29)	209	2,603

令和2年5月1日現在

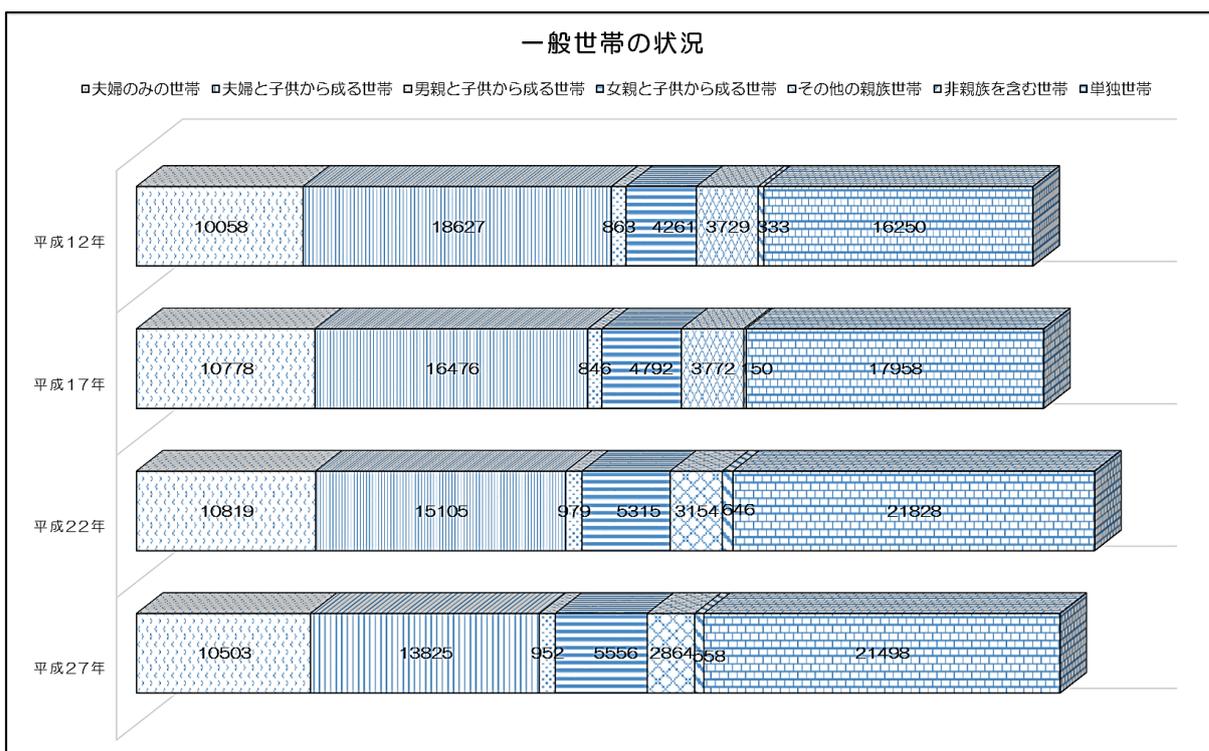
学級数 (通常学級)	6	7	8	9	10	11	門真 はすはな		14	15
							第二	第五		
				第四	第七			第三		

令和8年5月1日現在（推計値）

学級数 (通常学級)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

児童・生徒数の減少に伴い、学級数も減少しております。しかし支援学級については年々増加している傾向があります。また、学校ごとの学級数を見ると、小学校においてすべての学年が単学級（1学級）の学校は令和2年度は2校ですが、令和8年度には4校となることが予想されます。

#### (4) 世帯数の推移

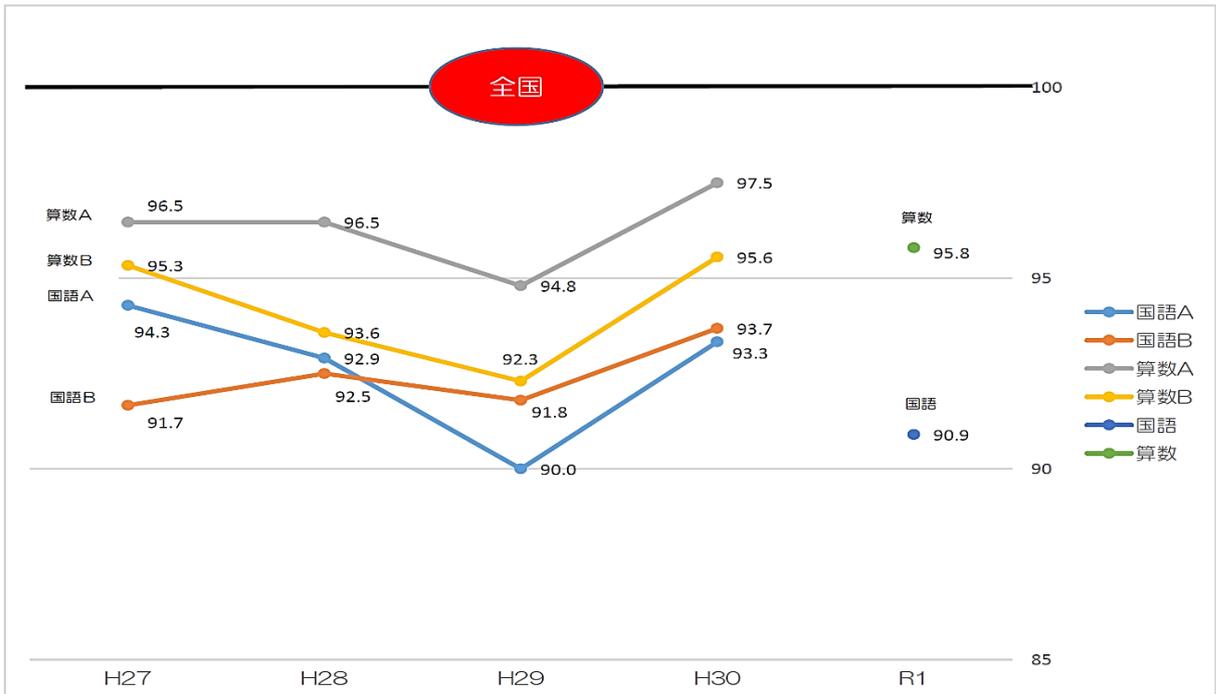


世帯状況の推移をみると、「夫婦と子供から成る世帯」が減少傾向にある一方で、「女親と子供から成る世帯」は増加傾向となっています。

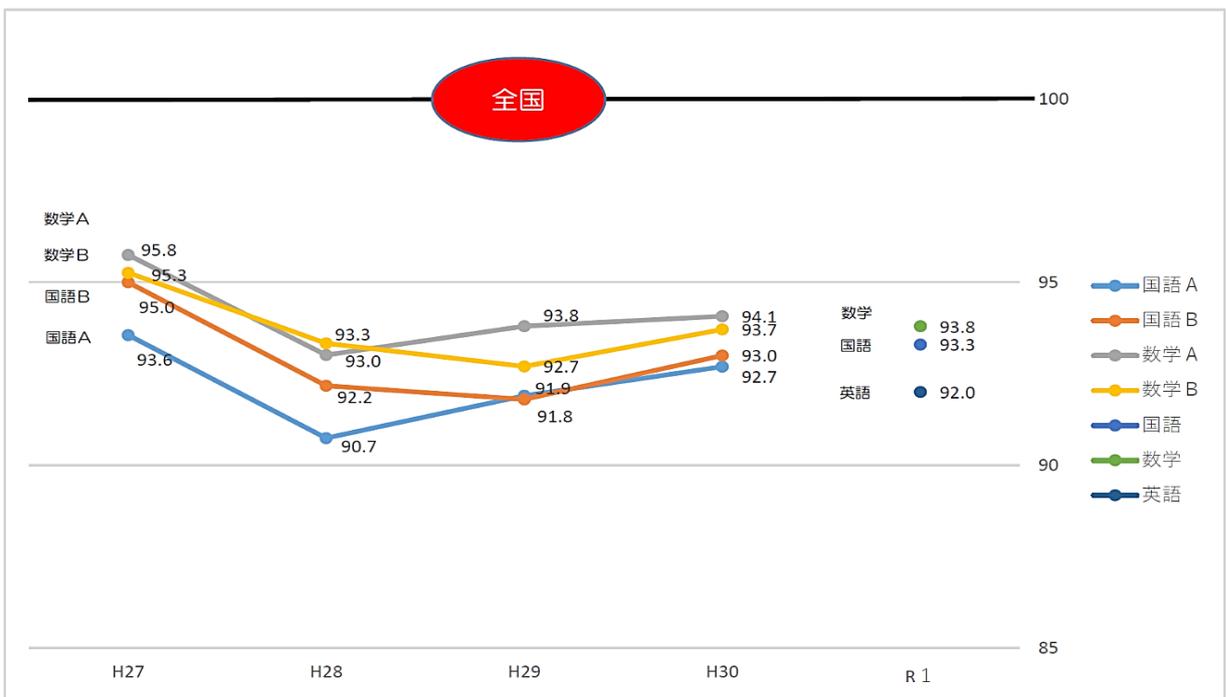
(5) 児童・生徒の状況について

①学力状況〈標準化得点を活用した対全国比経年比較〉

【小学校】



【中学校】

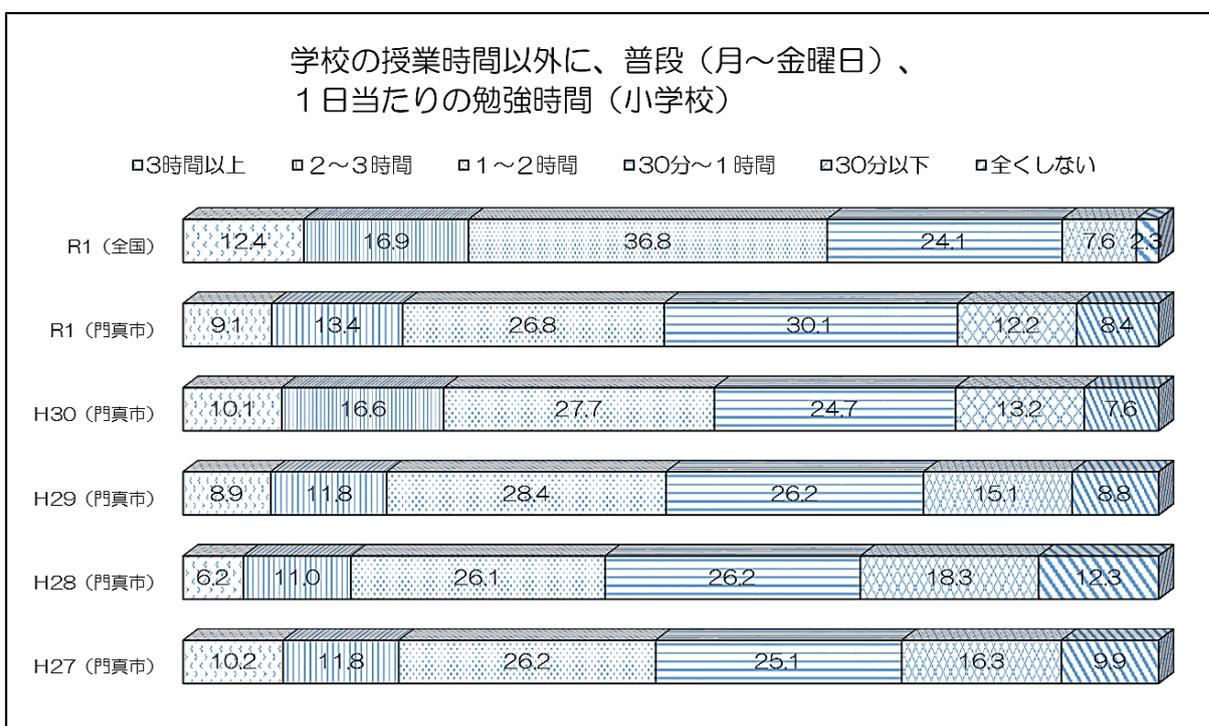


小・中学校ともにどの教科も全国平均を下回っている状況です。小学校においては、算数の得点が高い傾向があり、中学校においては、数学、国語との差がほとんどない傾向にあります。

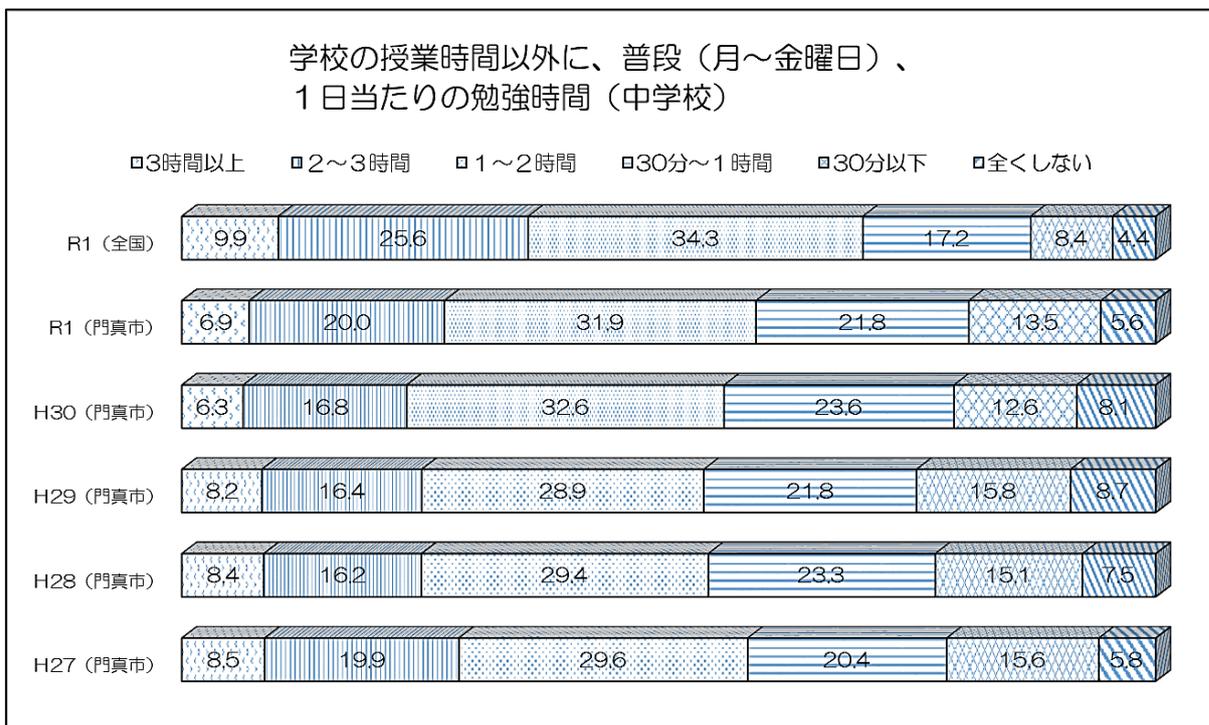
※令和元（2019）年度より算数・国語・数学についてはA・Bの区分がなくなりました。

## ②家庭での学習状況

### 【小学校】



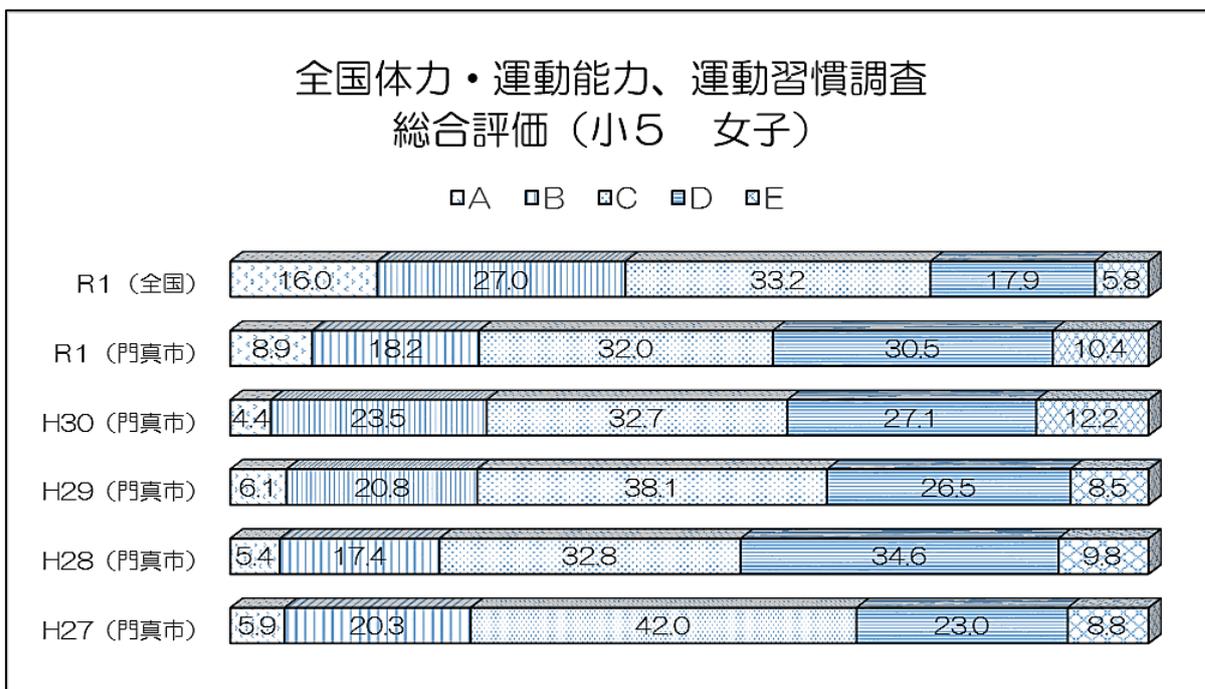
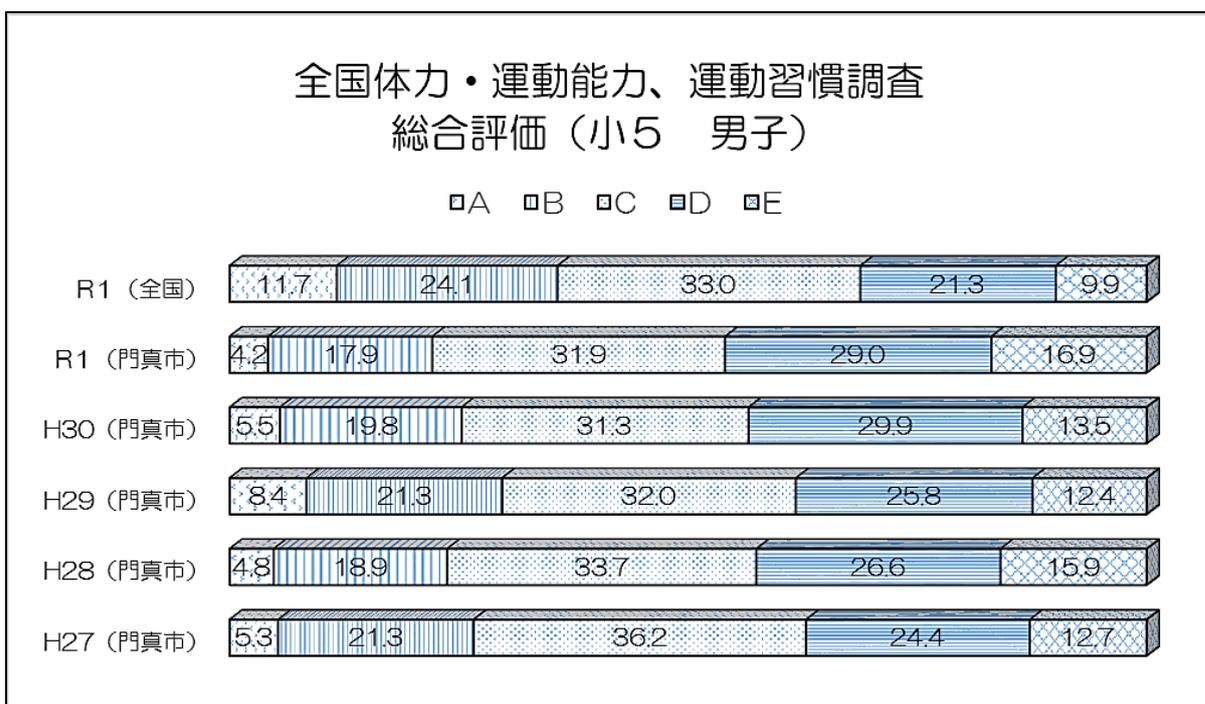
### 【中学校】



小・中学校ともに「1～2時間」勉強している割合が比較的高くなっています。それに次いで、「30分～1時間」勉強している割合が高くなっています。「全くしない」割合は小・中学校ともに、全国平均より大きく上回っている状況があります。

③体力・運動能力の状況

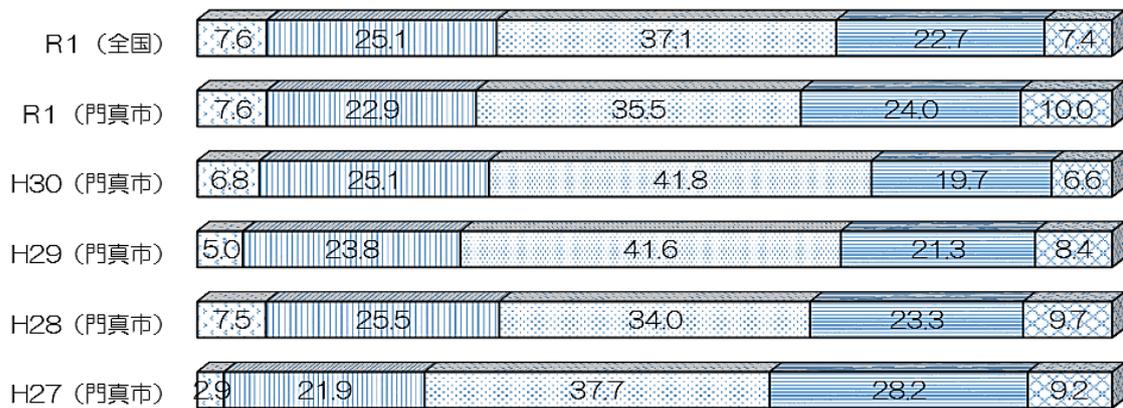
【小学校】



【中学校】

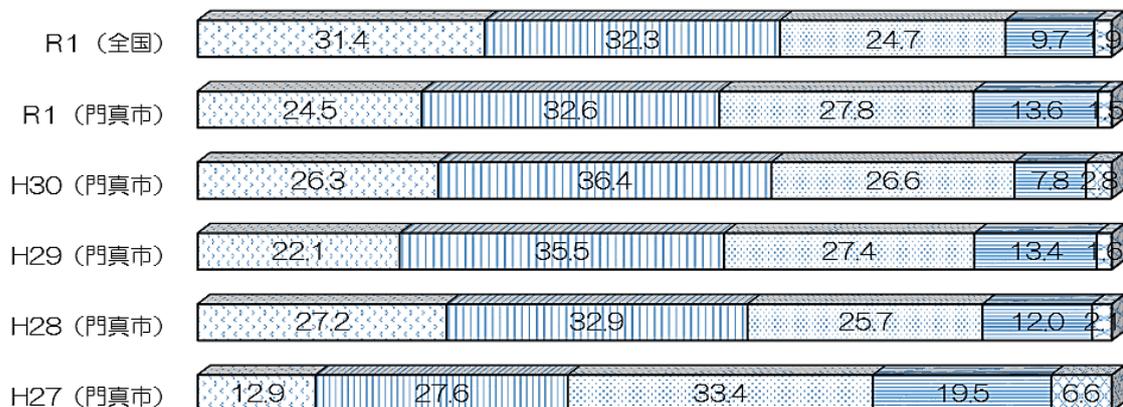
全国体力・運動能力、運動習慣調査  
総合評価（中2 男子）

□A □B □C □D □E



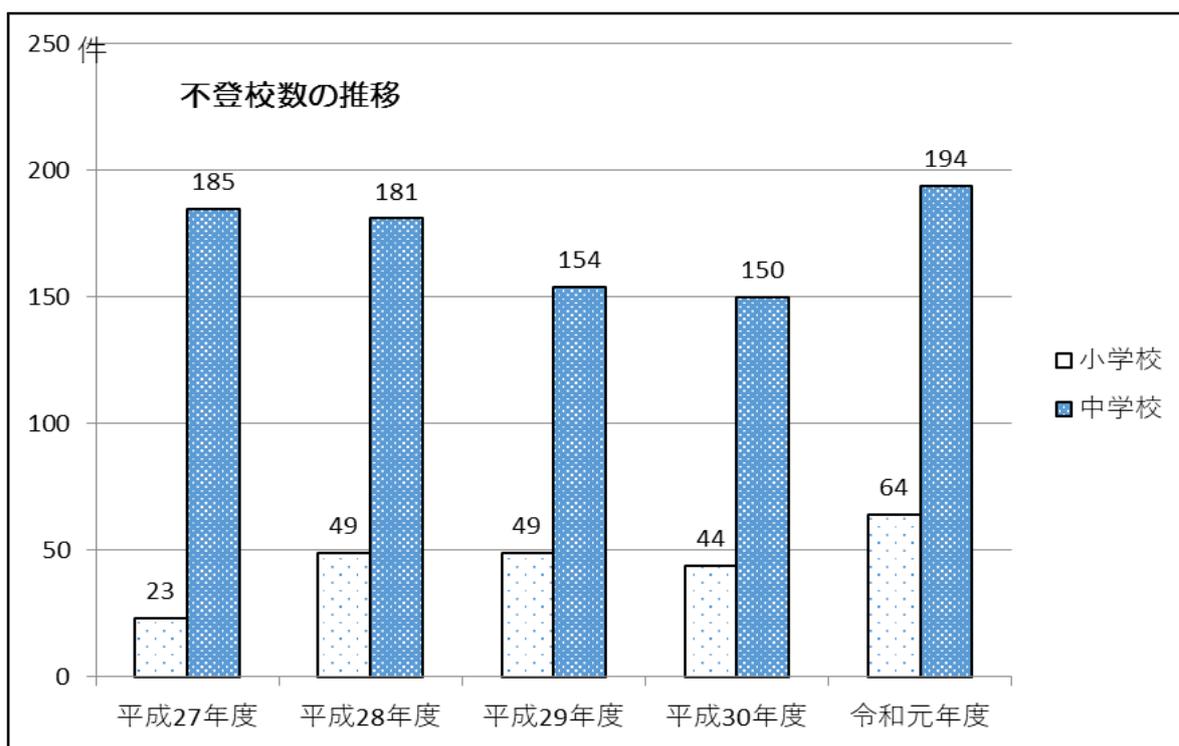
全国体力・運動能力、運動習慣調査  
総合評価（中2 女子）

□A □B □C □D □E



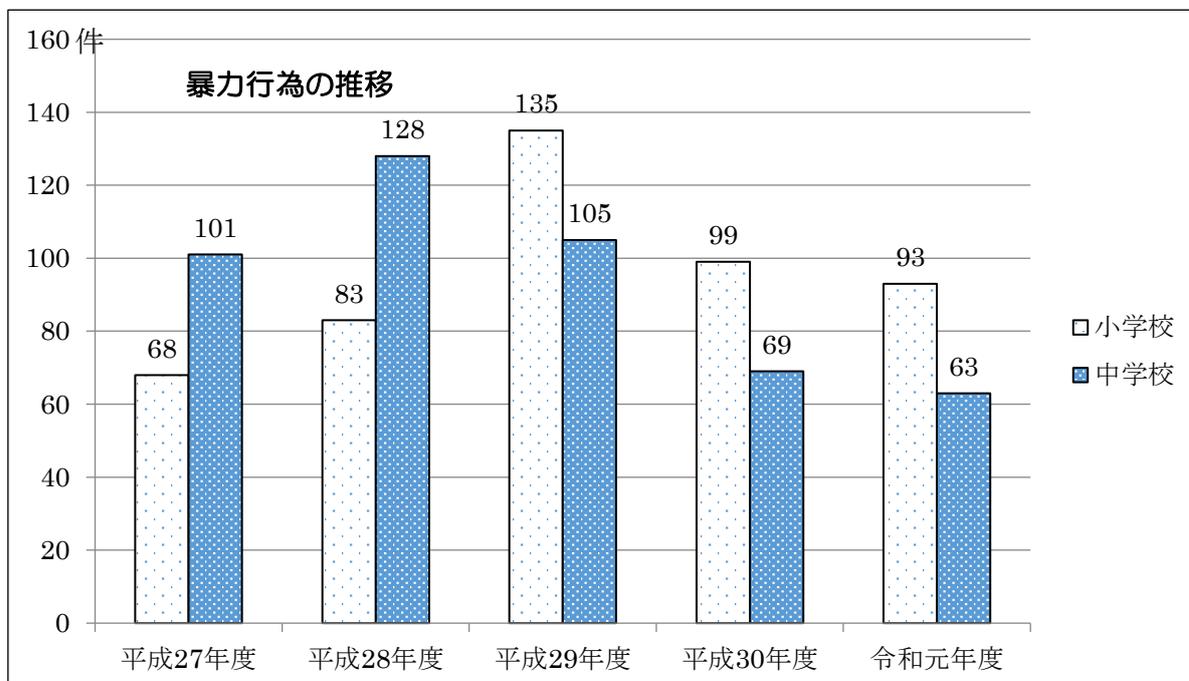
体力・運動能力の状況については、小学校段階では上位項目（A、B）が全国と差が見られますが、中学校段階では全国との差が縮まっている状況があります。

#### ④不登校数の推移



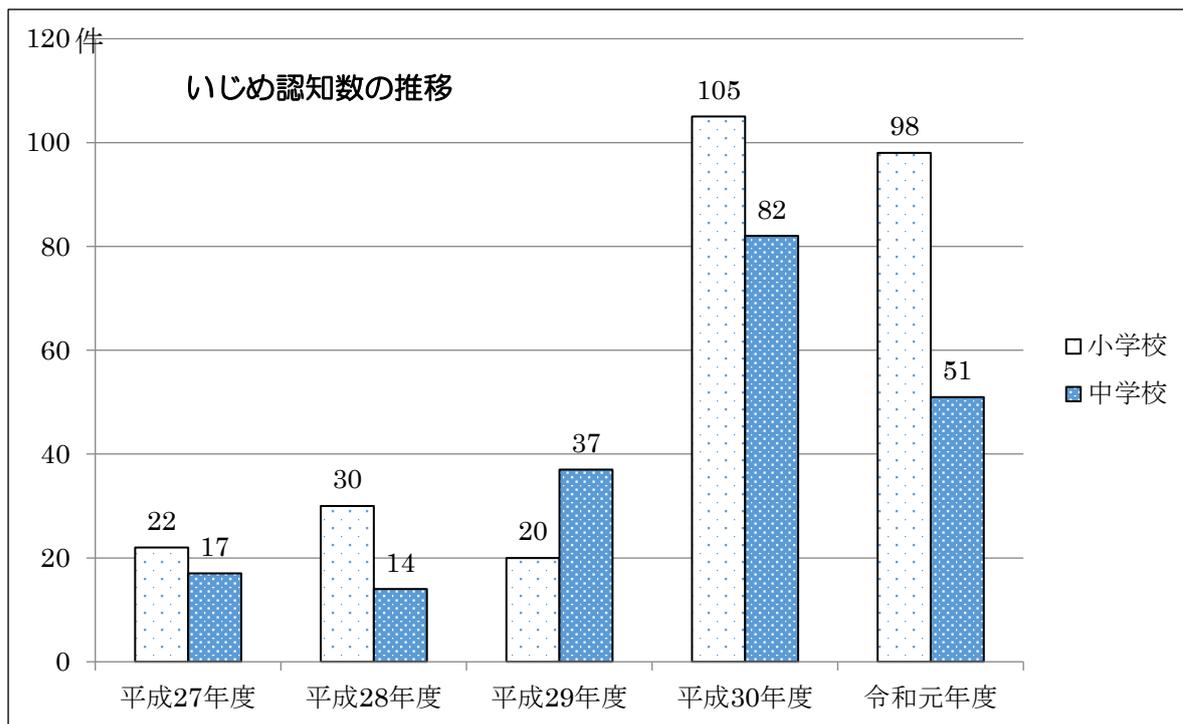
不登校に関しては、小学校に比べ中学校での数が多くなっていますが、小学校でも増加傾向が見られます。

#### ⑤暴力行為の推移



暴力行為については、以前は中学校の件数が多く挙がっておりましたが、近年では小学校の数が多くなっています。昨年度、一昨年度についてみると、減少傾向にあります。

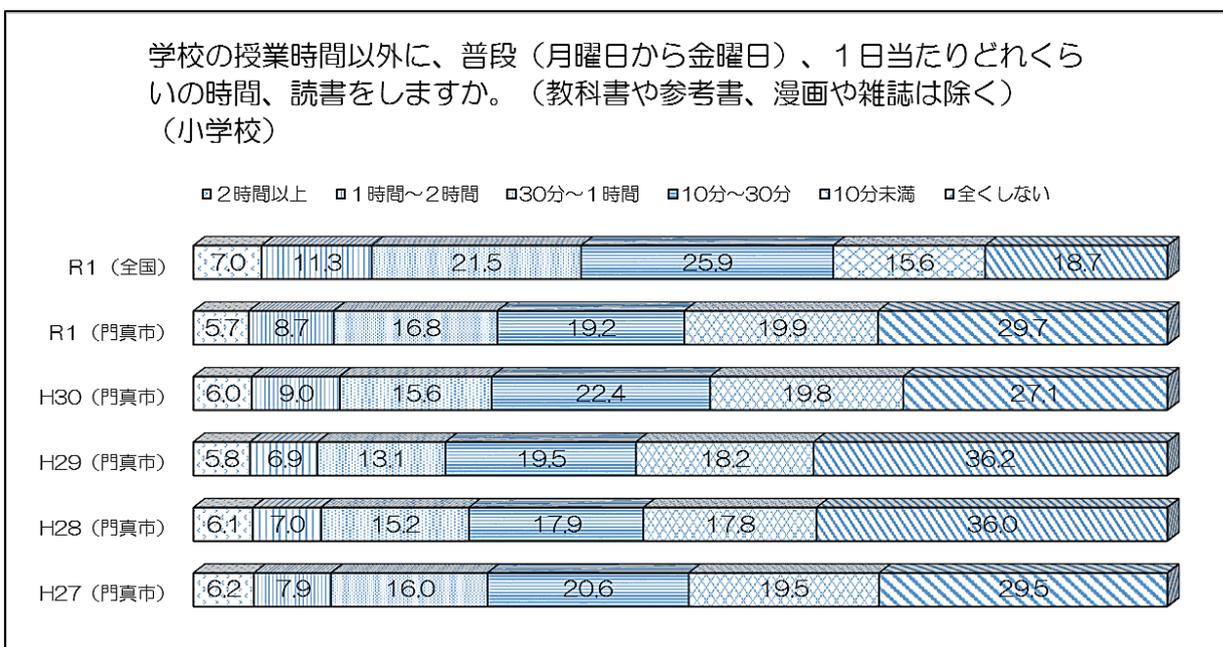
◎いじめ認知数の推移



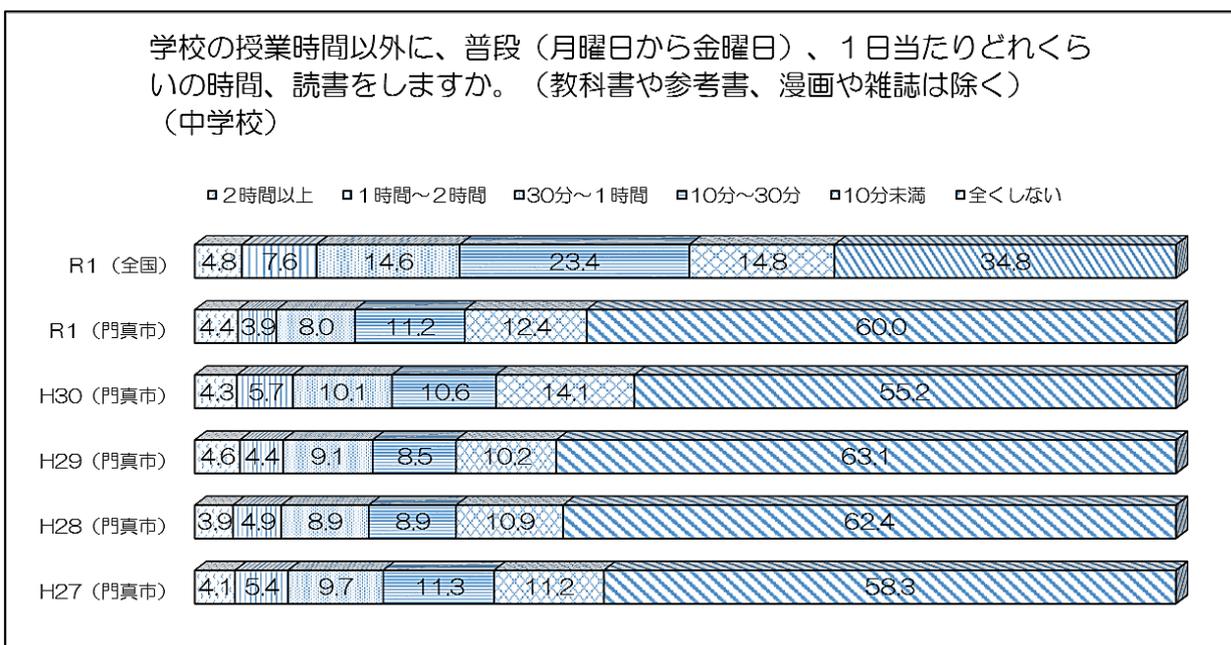
いじめの認知数につきましては、ここ数年の件数が多くなっておりませんが、いじめ認知の考え方が改められたことが影響しており、積極的にいじめ認知を行っている結果となっております。

⑦読書状況

【小学校】



【中学校】

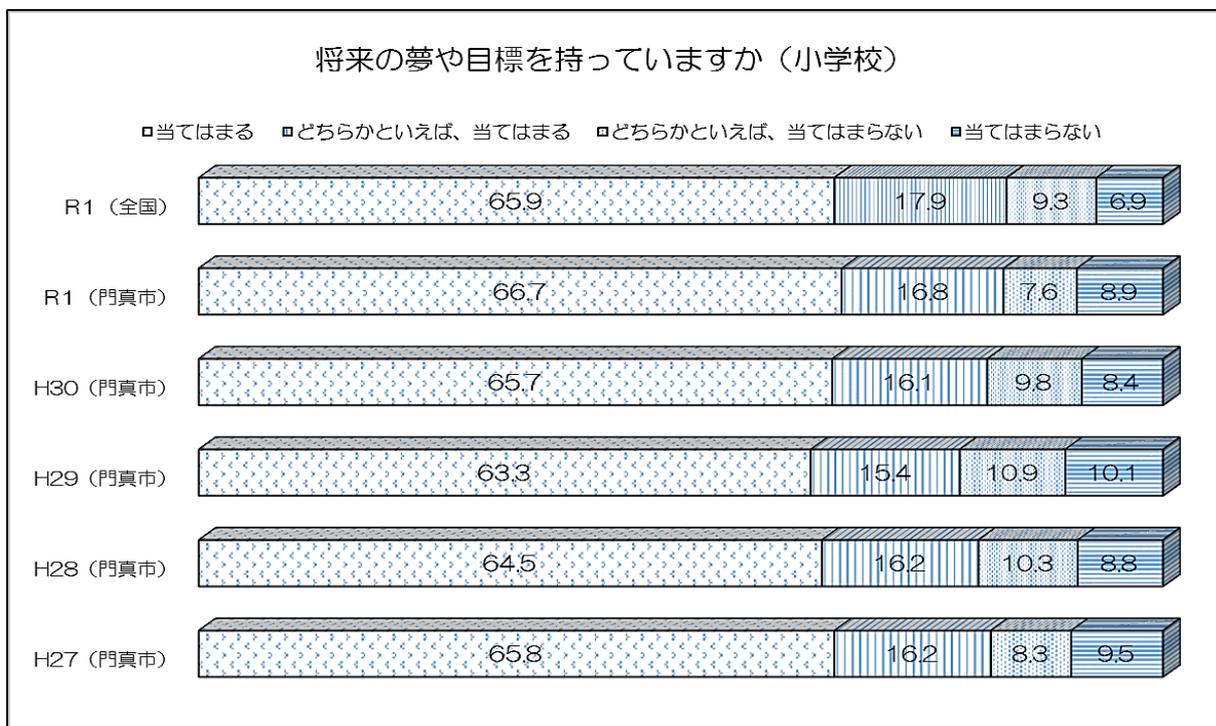


小・中学校ともに、読書を「全くしない」が1番高くなっていますが、「全くしない」割合は減少傾向にあります。読書をしている時間で見てみると、小学校で「10分～30分」、中学校で「10分未満」が高くなっています。

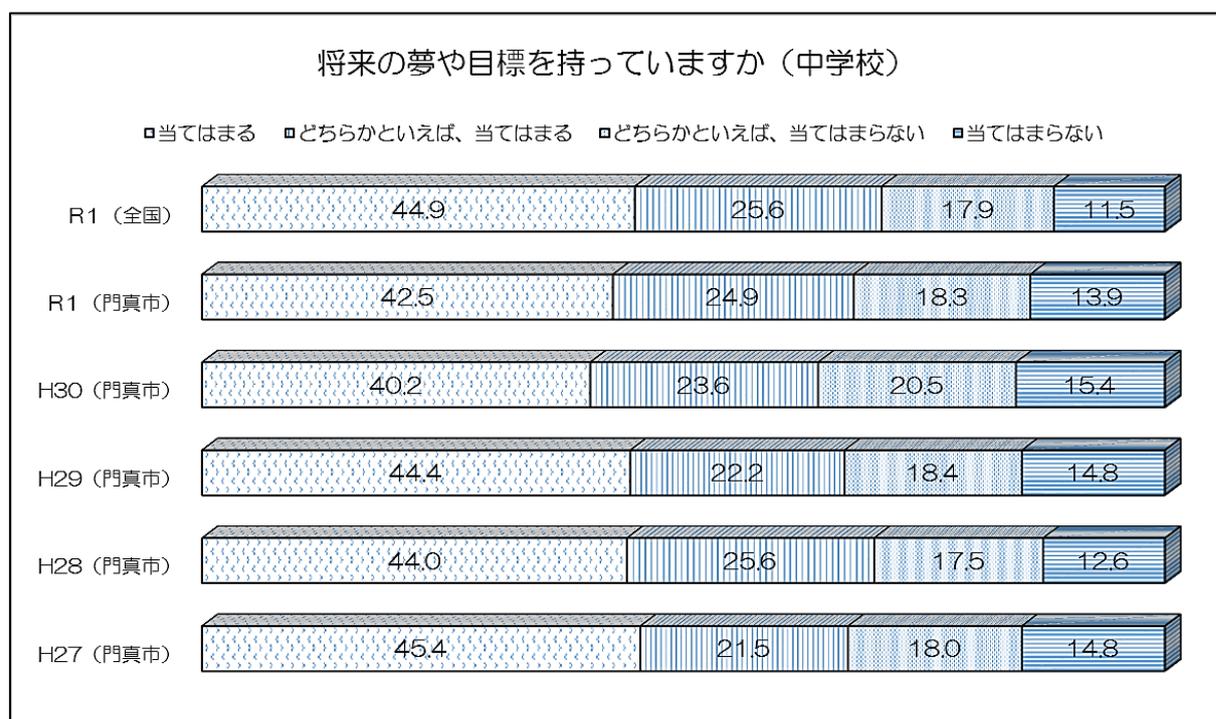
⑧自己肯定感、自尊感情について

(1)夢や目標について

【小学校】



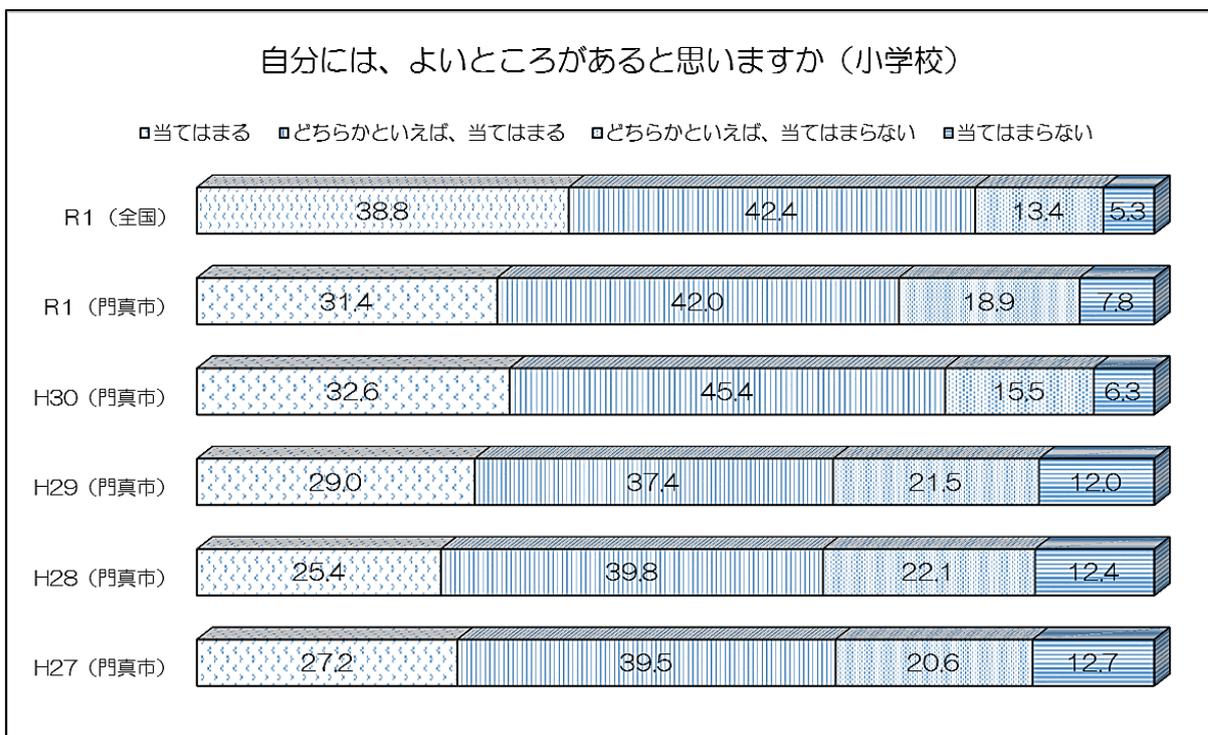
【中学校】



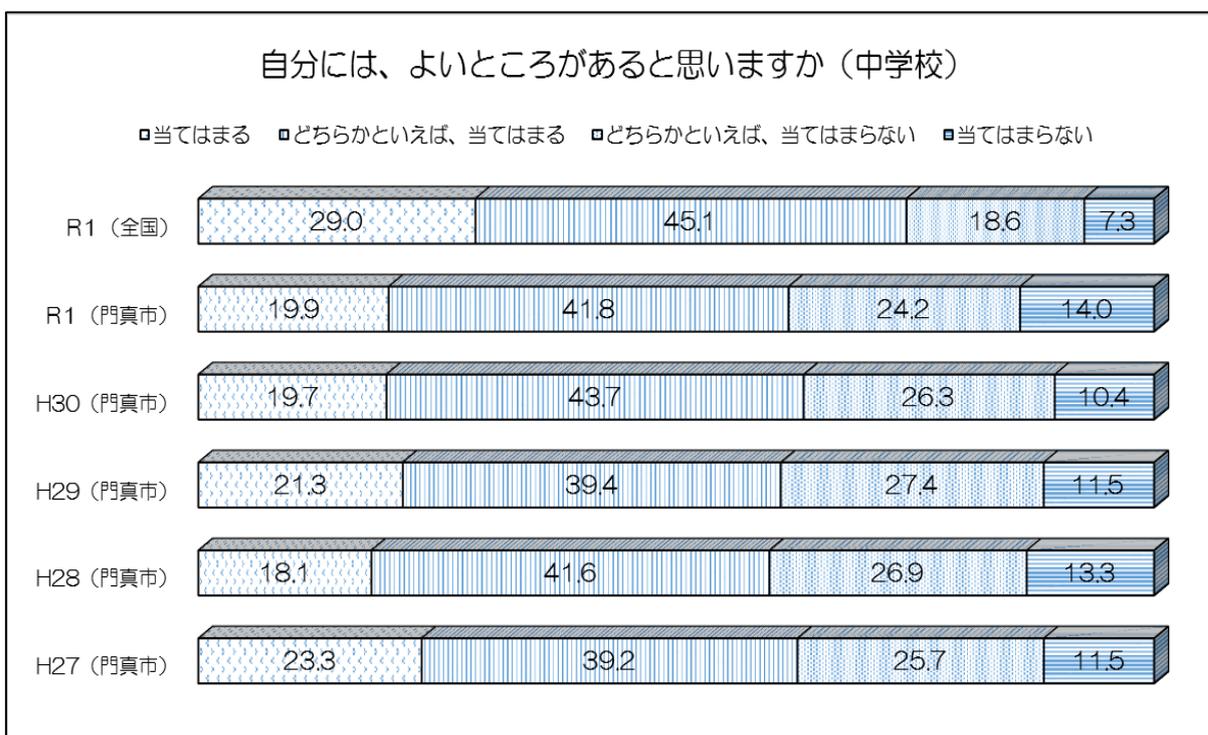
夢や目標を持っていると答えている割合は、小・中学校ともに全国との差はほとんどなく、小学校においては、令和元年度の「当てはまる」の割合が全国を上回っています。

## (2)自分のよいところについて

### 【小学校】



### 【中学校】



自分には、よいところがあると答えている割合は小学校の方が高い傾向が見られます。「当てはまる」と答えている割合は全国とやや差が見られますが、「どちらかといえば、当てはまる」の割合は大きな差はありません。

(6) 学校施設の状況について

【小学校】

小学校名	建築年度	経過年数	大規模改造工事 実施年度
門真小学校	昭和40年	55年	—
大和田小学校	昭和40年	55年	—
二島小学校	昭和48年	47年	—
四宮小学校	昭和40年	55年	—
古川橋小学校	昭和40年	55年	—
沖小学校	昭和46年	49年	平成27/28年度
上野口小学校	昭和46年	49年	—
速見小学校	昭和47年	48年	平成9/10年度
脇田小学校	昭和47年	48年	—
北巢本小学校	昭和49年	46年	—
五月田小学校	昭和51年	44年	平成25/26年度
東小学校	昭和58年	37年	—
砂子小学校	昭和51年	44年	平成14/15年度
門真みらい小学校	昭和45年	50年	平成17/18年度

【中学校】

中学校名	建築年度	経過年数	大規模改造工事 実施年度
第二中学校	昭和39年	56年	—
第三中学校	昭和44年	51年	—
第四中学校	昭和48年	47年	平成11/12年度
第五中学校	昭和48年	47年	平成27/28年度
第七中学校	昭和53年	42年	—
門真はすはな中学校	平成24年	8年	—

門真市内の小・中学校の施設の状況につきましては、多くの学校で築40年以上が経過している状況があります。全小・中学校において耐震補強工事は実施していますが、大規模改修を行った学校は7校となっております。